

- 問1 1980年から2010年にかけての、世界の石炭産出量におけるアメリカ合衆国のシェア（占める割合）の推移を正しく説明しているものはどれですか。（2016年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------|----------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| 1. 約10.0%だった割合が、35.0%まで急増した | 2. 約26.0%だった割合が、7.8%まで低下した | 3. 世界最大の産出国の座を、オーストラリアから奪い取った | 4. 約26.0%の割合を、30年間にわたり維持し続けた |
|-----------------------------|----------------------------|-------------------------------|------------------------------|
- 問2 モンゴルの遊牧民は、伝統的に「ゲル」と呼ばれる住居を使用して生活しています。この住居が、木製の骨組みにフェルトを被せた「折りたたみ式」の構造になっている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2015年 大分県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 夏場の強い日差しや高温を避けるために、通気性を最優先しているため | 2. 家畜の餌となる資源を求めて、頻繁に場所を移動する必要があるため | 3. 大規模な灌漑施設を建設する際に、一時的な待機場所として利用するため | 4. 洪水による浸水被害を最小限に抑えるため、地面から浮かせて設置するため |
|-------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
- 問3 南アジアの国々の統計を示した資料において、人口密度が1平方キロメートルあたり330人を超え、主な輸出品目の1位が衣類、2位が茶となっている島国はどこですか。（2024年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|----------|--------|----------|
| 1. バングラデシュ | 2. パキスタン | 3. インド | 4. スリランカ |
|------------|----------|--------|----------|
- 問4 かつてコンスタンティノーブルと呼ばれた歴史的な都市を擁し、アジアとヨーロッパを隔てるボスボラス海峡が位置する国では、2013年に日本の建設会社に関わった全長13.6kmの海峡横断鉄道トンネルが開通しました。この国は、1980年代に2%を超える人口増加率を記録し、2010年頃には10%に近い経済成長率を達成するなど、近年目覚ましい発展を遂げています。この国名を答えなさい。（2019年 東京都公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|------------|--------|---------|
| 1. トルコ | 2. オーストラリア | 3. カナダ | 4. メキシコ |
|--------|------------|--------|---------|
- 問5 東南アジアのある国では、1990年代末には原油などの資源が輸出の中心でしたが、近年では輸出総額の約4割以上を機械類が占めるようになっています。このような産業構造の変化をもたらした背景として、日本企業の進出を促した現地の要因を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 農業の機械化が徹底された結果、米や天然ゴムなどの農作物の輸出割合が以前よりも大幅に高まったこと。 | 2. 日本と比較して1か月あたりの平均賃金が極めて低く、安価で豊富な労働力を活用できたこと。 | 3. 日本企業の進出が減少したことで、自国の資本のみによる伝統的な軽工業が急速に発展したこと。 | 4. 原油の産出量が急激に増加し、燃料としての輸出だけでなく精製技術による工業化が進んだこと。 |
|---|--|---|---|
- 問6 世界最大の人口を抱える中国では、急激な人口増加を抑制するために独自の政策が行われていました。この国の人口政策や現在の産業の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. かつてソビエト連邦の一員として重化学工業を発展させ、現在はその技術を活かしてパソコンの生産で世界をリードしている。 | 2. ジャズやミュージカルなどの新しい文化が生まれた背景を持ち、現在は広大な農地での大規模農業とハイテク産業を両立させている。 | 3. 太平洋ベルトと呼ばれる沿岸地域を中心に、軽工業から重化学工業へと段階的に発展し、現在はサービス業が産業の主軸となっている。 | 4. 「一人っ子政策」によって人口の抑制を図る一方で、高度な工業化が進み、スマートフォンなどで圧倒的な世界シェアを持つようになった。 |
|--|---|--|--|
- 問7 南アジアのパキスタンを流れるインダス川の中流域に位置し、東経75度付近にその所在地が確認できるインダス文明の代表的な遺跡は何ですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------|--------------|-------------|---------------|
| 1. モヘンジョ・ダロ | 2. アンデス山脈の集落 | 3. ウルル（一枚岩） | 4. キリマンジャロの遺跡 |
|-------------|--------------|-------------|---------------|
- 問8 モンゴルの地理的な特色について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2017年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------|----------------------|--------------------|-------------------|
| 1. 東南アジアに位置している | 2. 大小さまざまな島からなる島国である | 3. 国土の大部分が熱帯に属している | 4. 海に面していない内陸国である |
|-----------------|----------------------|--------------------|-------------------|
- 問9 1980年代に中国で最初に指定された経済特区の一つであり、隣接する香港（ホンコン）からの投資や技術を導入することで、小さな漁村からハイテク産業が集積する世界的な大都市へと急成長した都市はどこですか。（2026年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------|--------------|-------|--------------|
| 1. シェンチェン（深圳） | 2. チョンチン（重慶） | 3. ラサ | 4. シャンハイ（上海） |
|---------------|--------------|-------|--------------|
- 問10 インドネシアなどの熱帯地域で見られる、あぶらやしを生産する「プランテーション」と呼ばれる農業形態の説明として、最も適切なものはどれですか。（2024年 長崎県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 先進国の大都市近郊において、土地を高度に利用し、消費者の需要に合わせて野菜や花などを生産する農業。 | 2. 乾燥した気候に適応するため、地下水路やオアシスの水を利用して、小麦やナツメヤシなどを栽培する農業。 | 3. 自給自足を目的に、限られた家族労働力を用いて、多種類の穀物や野菜を小規模な農地で栽培する農業。 | 4. かつての植民地支配を背景に、現地の安価な労働力と欧米の資本・技術を用いて、特定の輸出用作物を大規模に栽培する農業。 |
|--|--|--|--|
- 問11 ブルネイの経済を分析する際、国際的な原油価格の変動がその国の輸出総額にどのような影響を与えているかを調査することになりました。資料として「原油価格の推移」および「輸出総額の推移」の2つを用意しましたが、その因果関係を裏付けるための3つ目の指標として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2016年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------|-----------------|---------------------|------------------|
| 1. 輸入総額に占める自動車の割合 | 2. 国内における総人口の推移 | 3. 原油の輸出先となっている国々の数 | 4. 輸出総額に占める原油の割合 |
|-------------------|-----------------|---------------------|------------------|
- 問12 世界地図においてユーラシア大陸を見たとき、ウラル山脈などを境にして東側に広がり、東南アジアの国々も含まれる州の名称はどれか。（2018年 北海道公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-----------|----------|-----------|
| 1. アジア州 | 2. オセアニア州 | 3. アフリカ州 | 4. ヨーロッパ州 |
|---------|-----------|----------|-----------|
- 問13 近年のアジアにおける自動車保有台数の変化と、その背景にある社会状況についての説明として最も適切なものはどれですか。（2020年 京都府公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 日本などの先進国では若者の車離れにより保有台数が2010年から半減しており、アジアの自動車市場はインドー極集中となっている。 | 2. アジア各国では環境規制の強化により、2010年代後半からインドを含むすべての国で自動車保有台数が減少に転じている。 | 3. インドなどの新興国では経済発展によって自動車保有台数が急増しているが、日本は人口あたりの保有水準では依然として高い位置にある。 | 4. インドの人口あたりの自動車保有台数が日本の水準を上回ったことで、アジアにおける自動車の普及は飽和状態に達した。 |
|---|--|--|--|